

「6次化の導入による経営改善」

1 ビジネススクール受講の動機

年々米価の下落傾向にある中で、このまま規模拡大を行っていただけの経営では、収入増は見込まれなくなり、今後どのような方向に向かえば安定した収入増につながるか糸口を探すべく、また六次化に向けての勉強になると思い参加しました。



2 スクール受講中と修了後の経営改善

○平成20年 法人化し、現在の株式会社和氣ふぁーむを立ち上げ、野菜の導入（ほうれんそう）、雇用を導入し、水稻「なすひかり」の種子生産を開始しました。経営面積は順調に拡大し70haとなりました。

○スクール修了後の平成25年には経営面積が80haとなり、また、6次化にも取り組み、もち米を委託加工で揚げ餅にし、和氣ふぁーむブランドとして直売所、道の駅での販売を開始しました。

○平成26年には餅つき機を導入して自己加工での餅の販売を開始しました。（よつば生協・直売所・道の駅）

○以前は通年雇用をするため冬の間の作業を作ることがとても大変ではあったが、スクールで得た知識やノウハウを実行し、経営を改善したことにより安定して冬作業を作れるようになった。また、販売品目も増えたので収入増にもなりました。

○今現在、うどんの委託加工と揚げ餅の委託加工、それと昨年11月から始めた餅の加工販売をしています。今後の改善計画としましては、まず加工所の建設から始め、餅だけではなくおにぎりやお弁当、また惣菜等の加工販売を計画しています。加工所での加工、販売が軌道に乗ってくれば会社の売上げにつながるだけでなく、地域の雇用にも繋がり地域に貢献できると考えています。

3 ビジネススクールを受けたメリット

このビジネススクールを受講したことにより、より明確で質の高い計画や方向性を立てられるようになりました。

また、一緒に受講した20名の仲間と知り合えたことも自分の中での大きな財産になっています。